



研修医日記

作成者：久保田 実怜（1年次）

初めまして、研修医1年目の久保田実怜と申します。

むつ出身で、春からむつ総合病院で働かせていただくことになりました。地元にいるとやはりお世話になった方と出会うことも多く、懐かしい気分になっております。

研修医っていったい何をやるの？と思われる方も多いと思います。先生の後ろで何人も白衣を着た人が立っていて不快な思いをなさる方もいるかもしれません。私たちは、2年間の研修期間でいくつかの科を回り、知識や技術を身につけている途中です。患者さん達とお話をして学ばせてもらうことも貴重な経験になります。

さて、毎月弘前大学の6年生が実習に来ているのですが、交流会として宿舎で焼き肉パーティーを開いています。下はそのときの写真です。この中から何人かは、来年研修医として来てくれることでしょう。

私も学生のときに実習に来て、先生方をはじめ他職種でも話しやすいところに惹かれて研修先をこちらに決めました。実際に働いてからもその雰囲気の良いさは変わらず、笑わせてもらったり、教えてもらったりして毎日を過ごしております。（むつの人口の1%に当たる職員がむつ病で働いていることを知ったときは驚きでした...）医者だけでなく、様々な職種の方々が携わって働かせていただいていることに感謝し、日々精進していきたいと思っております。



今回集まったのは学生9人と研修医1,2年目の9人でした。みんな良い笑顔...の中で神田先生はなぜか鬼の形相です。このあと清潔な部屋を荒らされて落ち込んでいました。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。